

第23回 日本消化管CT技術学会 総会・学術集会 参加報告

小樽掖済会病院 大家 佑介

皆さま、こんにちは。小樽掖済会病院の大家佑介（おおや ゆうすけ）と申します。2025年6月21日（土）岡山国際交流センター（岡山県岡山市）で第23回 日本消化管CT技術学会 総会・学術集会に出席したので報告します。今回は倉敷成人病センター放射線技術科の木下琢実さんを大会長とし、「技術 創意 工夫～大腸CT検査の秘めたるポテンシャルとは～」というテーマのもと様々な発表、講演が行われました。

私は、「高精細CTが術式決定に寄与した横行結腸癌の一例」を報告させて頂きました。従来、描出が困難であった辺縁動脈や直動脈がAquilion Precisionにより描出能が向上し、より正確な術前シミュレーションに繋がった症例になります。大腸CTのスペシャリストの皆さんにご報告できるとても良い機会となりました。発表後には、「やっぱりPrecisionの画はきれいだね!」、「あそこまで描出できるなんてすごいね!」などお褒めの言葉を頂き、Aquilion Precisionの消化管領域での実力を少しでも伝えることが出来たかなと緊張もほぐれ、ホッとしました。

一般演題では、全国の各施設がどのように大腸CTに取り組んでいるのかを知ることができ、当院での今後の検査に役立つ内容ばかりでした。特に「大腸CTにおけるテクスチャー解析」では、大腸CTの質的診断に可能性を感じ、今後の進展に大いに期待の出来る演題でした。

ランチセミナーでは、琵琶湖大橋病院 消化器内科の田中先生による「求められる大腸CT検査になるために」という講演を拝聴いたしました。消化器内科医の立場で、どのように大腸CTを活用されているのかなどを知ることができ、当院の医師へのアプローチの参考となる内容でした。

午後のパネルディスカッションでは、「CTCにおける大腸と大腸外所見のマネジメント — C-RADSの活用 」をテーマに、実際の症例を元に最新の大腸CTにおける判定基準を学ぶことが出来ました。次のセッションでは、札幌医科大学附属病院 消化器内科の山野先生と札幌厚生病院 病理診断科の市原先生をコメンテーターにお招きし、笠岡第一病院 放射線科の笹井先生の進行の下、症例解析を行いました。放射線科医・消化器内科医・病理医・放射線技師と大腸CTに関わる全ての視点から、一つ一つの症例を深掘りするかなり中身の濃い症例検討でありました。先生方が大腸CTに求める画像診断のレベルの高さにはとても驚かされ、腫瘍内の細かなCT値差に着目し、深達度を考察するなど、ハイレベルな議論が繰り広げられました。私自身「大腸CTは質的診断が苦手だから存在診断をしっかりと」思っていました。が、「大腸CTでも質的診断をしていくんだ」と考え方を大きく変えられた瞬間でもありました。そして、高精細CTから得られる高精細な画像を内部性状のより詳細な評価に繋がるように検討し、当院が誇るAquilion Precisionを大腸CTにおいて最大限活用できるよう努めていきたいと思えます。

最後の講演は、山野先生による「内視鏡治療の観点からみた消化管CTへの期待」という特別講演でした。大腸がん検診における二次検診の重要性と受診率の低さについてのお話があり、そこには内視鏡検査の苦痛感や前処置の問題・術者側の技術習得や精度管理の問題などが背景にあるとのことでした。

消化管3D-CTは客観性や粘膜下層浸潤癌（SM 癌）以深の病変に対する存在診断による大腸がん死亡数抑制などに大いに期待ができ、さらには質的診断への可能性も検討する必要があるとお話しされていました。大腸内視鏡の最前線でご活躍されている先生が大腸CTに対して期待をしていることを非常に嬉しく思うと同時にこの期待に応えていきたいと身の引き締まる思いでした。

学会全体を通して、医師が考える大腸 CT について深く知ることのできた貴重な時間であったと感じています。今まで技師の目線で検査の良し悪しを考え満足していましたが、今後は医師が求める大腸 CT 検査も意識し、存在診断から質的診断へステップアップした検査の提供を目指していきたいと思います。

次回は、国立がん研究センターがん予防・検診研究センターの山本修司さんを大会長に東京での開催を予定しております。消化管 CT に関する知識を身につけたい方や知識を深めたい方、興味のある方はぜひ参加してみたいはいかがでしょうか。

消化管 CT チームの皆さんはとても仲が良く、施設・地域の枠を超えて懇親会もとても盛り上がります。先生方もとても優しくごっくばらんに情報交換が出来ますので、WEBではなく現地での参加をお勧めいたします！

また、今後の大腸 CT 関連の情報と致しましては、令和7年9月4日（木）に第11回 CT Colonography Webinar（WEB）、令和8年3月20日（金）【春分の日】に第8回 日本消化管 Virtual Reality 学会 総会・学術集会（小樽市）が開催されます。多くのご参加よろしくお願い致します。



学会の様子



三大庭園である後楽園から眺めた岡山城